

# 平成 26 年度 糸魚川市教育研究会 音楽部 活動報告

- ◆部長 井澤 和秀 (田沢小) ◆副部長 小川 敦子 (青海中) 上田 正子 (青海小)
- ◆推進委員 今井 沙織 (糸魚川中) 猪又 小百合 (能生中) 炭谷 希基 (糸魚川東小)
- ◆部員数 小学校 17 名 中学校 4 名 特別支援学校 5 名 計 26 名

## 1 研究主題

- 糸魚川市児童生徒の実態及び地域の実態に立った教育課題を明確にしながらか研究を推進する。
- 学習指導要領の完全実施に対応した音楽教育の振興を図る。

## 2 研究の概要

- (1) 会員の指導力の向上を図る研修 (実技研修会及び授業研究会) の実施
- (2) 糸魚川市児童生徒音楽発表会を開催することによる表現力、鑑賞力の向上

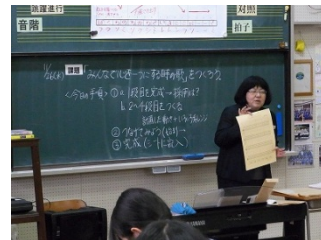
## 3 研究の実際

### (1) 音楽科指導力向上実技研修会

- ①期 日 10 月 2 日 (木) 13:30~16:40 糸魚川中学校音楽室
- ②講 師 新潟大学教育学部教授 伊野義博 氏
- ③内 容 「音楽づくりってどうするの ~いろいろな方法を学びます~」 ④参加者 15 名
  - ・講師は旧能生町出身。元糸魚川中学校教諭。部員から要望の多かった創作分野の実技研修会を行った。講師から「最初に大切にしたいことは、耳を澄ますこと」との指導があり、無音を体験したあと紙一枚だけを使った音づくり、その後小物打楽器、リコーダーの頭管部などの素材を使ってグループでの音づくりと発展していった。素材がシンプルであるだけに音楽の仕組み「反復、変化、問いと答え、縦横の関係」音楽の要素「音色、リズム、速度、強弱等」を使いながら音を音楽へと構成することを体験的に学ぶことができた。
  - ・音楽作りに関するいろいろな方法を教えていただき、創作の授業のエッセンスや指導のポイントを分かりやすく体得できた。

### (2) 授業研究会 (新潟県中学校教育研究会指定研究)

- ①期日 11 月 26 日 (火) ②会場 糸魚川市立青海中学校 ③参加者 51 名
- ④授業者 青海中学校 小川敦子 教諭 ⑤題材「心一つにするときの歌をつくろう」
- ⑥研究主題 意欲的に思いや意図を音で表現する生徒の育成・学び合う創作の授業を通して
- ⑦指導者 上越市立大湊小学校長 渡辺由紀 様
  - ・新学習指導要領の趣旨を生かした授業づくりと創作活動をテーマにして中学校 1 年生の授業を参観し研修を行った。
  - ・青海地域の無形文化財「竹のからかい」で歌われる「左義長」を形作っている諸要素を知覚感受させながら「心一つにするときの歌」への思いや意図を持って旋律を創作させる授業であった。生徒は言葉の持つリズムや抑揚を考えながら旋律やリズムづくりに取り組んでいた。



### (3) 糸魚川市小中学校音楽発表会

- ①能生地域音楽発表会 10 月 31 日 (金) 能生マリンホール
- ②青海地域音楽発表会 11 月 6 日 (木) きらら青海
- ③糸魚川地域音楽発表会 11 月 7 日 (金) ビーチホールまがたま
  - ・各校 15 分程度の時間で、学年の合唱や合奏、吹奏楽部や合唱部の成果を発表した。どの学校・部活もレベルが高く、保護者等の来客も多かったことから充実した発表会になった。

## 4 成果と課題

- ・「指導力向上実技研修会」や「授業研究会」によって、音楽の楽しさや指導技術等を学ぶことができて有意義であった。
- ・音楽発表会を 3 地域に分けて行っている。能生は 6 校、青海は 4 校しかなく鑑賞の幅が広がらない。一堂に会して鑑賞し合う機会としたいが、地域的な問題で実現が困難である。